

とらべつ

歴史余話

江戸時代の北海道は蝦夷地と呼ばれ、その名のとおり「蝦夷人」すなわちアイヌの居住地でした。そのアイヌとの交易を独占していたのが、道南の松前を拠点とした松前藩です。

松前藩にとって、アイヌが多数居住する石狩川流域は、蝦夷地のなかでも特に重要な地の一つだったようです。というのも、松前藩は蝦夷地での交易権を多く家臣に給付しているのですが、この石狩川流域の交易については藩主の直轄方式をとっていました。すなわち、藩主が直々に持ち船を松前から遣わし、現地でアイヌとの交易に従事させていたのです。

この交易について、1670(寛文10)年に弘前藩士が藩に報告した文書が、『津軽一統志』という記録のなかに見られます。このなかには、「石狩川河口より順風で2日上ると〈ちよまかうた〉というところがあり、多くのアイヌが住んでいる。ここまでは松前の船が上ってきて、方々からアイヌも交易のために集まってくる。また、〈ちよまかうた〉より川路を上ると2日でツイシカリというところに着く。これより先は水の流れが速いので、チョマカウタより上流へは船はのぼっていない」という記述があります。同じく、1727(享保12)年の『松前西東在郷并蝦夷地所附』にも、「御船商いをしてきたところである先年は、てうまうたというところまで航行していたとのことだ」とあります。

どうやら、チョマカウタという場所は、藩主の持ち船が交易を行うところと位置付けられていたようです。恐らくアイヌがもたらしたおもな交易品は、秋味(生鮭)だと考えられます。ちなみに、チョ

第33回 松前藩が重視した「チョマカウタ」の交易場

当別町史執筆担当 濱口 裕介

マカウタという地名は、アイヌ語でci-o-maka-ota「我々が - そこを - (碇泊所として切り) - 開いた - 砂浜」と解することができます。

では、このチョマカウタとは現在のどこにあたるのでしょうか？ 19世紀に作成された伊能忠敬の「大日本沿海輿地全図」を見ると、石狩川の北岸に注ぐ「ビトイ川」と「トーベツ川」の間に「チヨマヲタ」という地名が見られます。ビトイ(石狩市美登位・当別町ビトエのもとになった地名)やトーベツという地名から察するに、これを現在の当別町域の付近と考えることは可能でしょう。

このように江戸時代前期の石狩川下流域は、松前藩主の持ち船が渡来し、アイヌたちとの活発な交易が行われていた重要な場所だったと考えられるのです。



From the collections of the Geography and Map Division, Library of Congress, Washington, D.C., U.S.A. 国土地理院所有「伊能大図(米国)図版データ」を加工し、「チヨマヲタ」の周辺を拡大した。近辺には「トーベツ川」「トーベツ」「ビトイ川」(○で囲んだ=編集部)などの文字も読める。

フィーカを通してお互いの知らない世界を！



トーベ ケンネスコグ Tove Kenneskog さん



ここに書ききれないエピソードや写真は当別町ホームページ「現在を生きる+」でご覧ください。



今回は、今年の4月からスウェーデン交流センターで交流事業担当職員として勤務しているトーベ・ケンネスコグさんにお話を聞きました。

に帰国後、大学を卒業し、それからしばらくはスウェーデンで働いていました。

と思っています。皆さんとの会話を通して、知らない世界をたくさん知り、そして伝えたいです。ぜひ気軽に参加してください。

日本との出会い

イギリスへ留学をしていたときに、アニメ「ONE PIECE」と「NARUTO -ナルト-」を見て、日本語の綺麗な発音に耳を奪われ、日本語を学びたいと考えるようになりました。

元々言語学が好きで、スウェーデン語と英語の他にスペイン語も学んでいましたが、日本語は音のはっきりと聞こえて、スウェーデン人には馴染みやすかったです。

進学先のストックホルム大学では、主に日本語を学び、日本語との比較のために中国語と韓国語も学びました。ストックホルム大学で1年間過ごした後、札幌国際日本語学院に2年間留学。これが初めての日本での生活となりました。

その後、ストックホルム大学へ戻り、今度は愛知県の南山大学へ1年間留学しました。スウェーデ

交流センターでは

以前スウェーデン交流センターで働いていたソフィア・ヤンベリさんとは、南山大学で一緒に学んでいた仲で、彼女からここでの仕事を勧められました。札幌への留学経験と北海道が大好きな気持ちから応募し、2020年から働くことが決まっていたのですが、新型コロナウイルスの影響で来日が叶わず、今年の4月からようやく働き始めることができました。

交流センターでは、スウェーデンの魅力伝える仕事をしていて、9月はザリガニパーティやスウェーデン語教室を行います。今回の教室は札幌で開くのですが、参加希望者がいれば交流センターで開くこともできますよ。

また、月に1回、コーヒーやお茶を飲みながらスウェーデンについてお話する「フィーカ」も企画しています。ここで食べるお菓子は私の手作り、今回は虎柄のケーキ「Tigerkaka」を作ろう

これからの目標

スウェーデン語と日本語の違いとして、スウェーデン語には敬語の概念がないため、敬語が苦手です。私が外国人だから敬語を使えなくても大目に見てもらえる部分はありますが、もっと日本語を上手く話すために、身に付けられるよう頑張りたいです。

また、今年のロシア祭では、子どもたちが歌うスウェーデン語の歌を日本語で歌ってもらえるように、歌詞の翻訳にチャレンジしたいと思っています。

フィーカしませんか？

美味しいお菓子やコーヒー、お茶を楽しみながらスウェーデンや日本などについて色々お話ししてみませんか？

9/24 (日) 14:15 ~ 15:30

申込みは下記まで

問合せ：スウェーデン交流センター (☎ 26-2360)